

館長だより

山形県産業科学館

平成28年3月5日 第55号

発行 館長 大津 清

「クネクネ棒をつくろう」開催しました

去る平成28年2月7日(日)に山形県産業科学館4階発明工房において、講師に東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン教授三橋幸次先生、教授柚木泰彦先生、学生4名を迎えて、「クネクネ棒をつくろう～いやし系アートおもちゃ～」が行われました。時間は午前の部10:30～12:00、午後の部13:30～15:30に行われ、参加者は午前の部30名、午後の部40名の参加がありました。

らせん状の針金とカラフルなアクリルリングを用いて、「クネクネ棒」を作りました。クネクネと動いているように見える不思議な美しさがあり、列ができるほどの大人気でした。

講師の先生方、参加いただきました皆さんありがとうございました。



トヨタ自動車東日本主催協賛イベント開催しました

去る平成28年1月31日(日)午後1時より4時まで、山形県産業科学館4階発明工房で、トヨタ自動車東日本株式会社主催(共催:山形県、山形県自動車産業振興会議)による「クルマづくり教室・工作教室」が開催されました。

内容は次のとおりです。

◆第1部 クルマづくり教室(バーチャル工場見学を体験する)自動車組立工場の映像や2つのからくり装置である「定量くん」(自動的に4個のねじが取り出せる)・「くるりくん」(自動的に板を反転させる)を体験し、バーチャル工場見学をしました。さらに、2足歩行ロボットやからくり人形などのデモを見学しました。

◆第2部 工作教室(オリジナルな「からくり自動車」をつくり走らせる。)子どもたちは目を輝かせて、からくり自動車を完成させて走らせました。小学生4年から6年まで27名の小学生が参加しました。

ロボットやからくりを体験し、からくり自動車を走らせて楽しい教室でした。

講師の先生方、ご参加いただきました皆さんありがとうございました。

●『車ちゃんと走るかな 技術者講師に工作教室』 山形新聞2月1日付



山形県産業科学館開館15周年の歩み

平成28年1月30日(土)より山形県産業科学館2階チャレンジコーナー前に、山形県産業科学館開館15周年記念「開館15周年の歩み」(写真展)をしています。

平成28年3月31日(木)まで開催しています。

ぜひ、ご覧ください。



・下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら誰も君を下足番にしておかぬ。

小林一三

小林一三(1873-1957)は山梨県に生まれ、実業家、政治家。阪急電鉄・宝塚歌劇団・阪急百貨店・東宝など阪急東宝グループを創業し、日本最初の田園都市構想モデルを実現した。「誰にも夢がある。それはたとえ小さくともその夢がふくらみ花を咲かせ、立派に実るのを見るのは楽しい。」夢を追い求めた生き方であった。